

## 甲斐市教育委員会第3回定例会議事録

- 1 日 時 平成29年6月30日（金）午後1時30分
- 2 場 所 甲斐市役所 新館2階 教育委員会会議室
- 3 開 会 午後1時30分
- 4 出席者 【教育長】 西山豊教育長  
【委 員】 長田明美職務代理者 新海宏子委員  
柳本博美委員 中込正久委員  
【説明員】 生山勝教育部長 樋口充教育総務課長  
内藤和彦学校教育課長 土屋達巳生涯学習文化課長  
梅原剛スポーツ振興課長 保坂和也図書館長  
坂本公彦学校教育指導監 高野悦夫学事係長
- 5 傍聴人 なし
- 6 事務局 名取藤吾教育総務係長 河野晴美教育総務係員
- 7 前回議事録の承認 平成29年度 第2回定例会議事録 「承認」
- 8 教育長からの報告
- 9 議 題  
第1号 平成29年度要保護・準要保護、児童生徒の認定について  
第2号 甲斐市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部改正（案）について  
第3号 平成29年度甲斐市学校給食運営委員（案）について  
第4号 給食調理業務の民間委託について
- 10 その他  
(1) 平成30年度県教育施策並びに予算に関する要望について  
(2) 平成29年甲斐市議会6月定例会教育委員会関係一般質問について  
(3) 平成29年度甲斐市奨学生選考委員会結果報告  
(4) 平成28年度学校給食費収納状況について  
(5) 小学校卒業式の服装について  
(6) 子どもの生活アンケートについて  
(7) 平成29年度山梨県学力把握調査の結果について  
(8) チャレンジデー2017の結果について  
(9) 7月の行事予定について
- 11 閉 会 午後4時15分

## ○開 会

事務局

開会を宣する。

## ○あいさつ

委 員

みなさん、こんにちは。

学校訪問がほぼ半分終わったというところで、全体的なことはまだ言えないのですが、今年の学校の雰囲気の前年度までとはいい意味で違うなという感触を私は持ちました。タイミング的には多忙化改善の動きが出てきた年ですし、教職員の評価も新しい方式になってから少しずつ理解されてきたところで、管理職の職員と向き合う目線、姿勢が少し変わってきたことが、学校の雰囲気の変化に表れているのかと思いました。小学校、中学校とも、めあてとか目標とか授業のスタイルが出来ている、と感じながら訪問しました。授業スタイルというのは、これから改善の余地はあると思います。実践をしていく中でいいものを出していくと思いますが、ちょっと心配なのは学担とか教科担任がこれを受けてフィードバックしたり分析したりして個人に返すという作業が大変なことになり、負担増になったり息切れがして長続きしなくなるのではと心配をしています。うまくこれが実質的に機能して継続できるような授業改善になってほしいと思いました。

各学校ともQ-Uテストの成績がとてもいい場所に落ち着いていてうれしいという報告を受けました。Q-Uの成績もさることながら、みんな支えて子どもたちを大事にしながら授業に向かわせていく姿勢も出来つつあると感じました。

私が学校訪問で反省することは、学力向上と資料の中にありますけど、そればかりが学力ではなく、生きていく力の中のほんの一部が学力テストの点に表れるものなので、あまり学力向上ということを学校の中で言うてはいけないと思いました。やはり大切なことは子どもが学校に来て楽しい、学校に居場所がある、成績があまりふるわない子も、家庭では貧困で幸福感を感じていない子も学校に来れば楽しい、学校の中で自分が必要とされている、活用される場面がある、そういうことで少しでも評価してもらって自信を得て家に帰るといふ学校生活を送らせるように行政も知恵を絞るのですが、学校と共に考えて学校づくりを目指していきたいと学校訪問の中で感じました。

## ○教育長報告

### 教育長

それでは、6月の諸報告をさせていただきます。1ページをご参照いただきたいと思います。主なものについてご報告申し上げます。

1日には、学校訪問が始まりました。教育委員のみなさんと教育委員会のスタッフを合わせて10人ほどで訪問しました。今年度のスタートは双葉中学校でした。先生方の学習の目標と振り返りを意識したわかる授業づくりへの努力や、落ち着いて学習するための環境づくりなど教育活動への前向きさが伝わってきてうれしく思いました。管理職と各主任の先生方との話し合いで、学校の説明や施設設備などに関するいろいろな要望や課題もお聞きし、話し合いが深まりました。連携を密にして学校訪問を続けたいと思いました。

午後には、県外スポーツ大会出場費補助金交付式があり、6月3日から新潟県長岡市で開催される第11回全国グラウンドゴルフ・レディース交歓大会へ出場する5人の代表選手に補助金を交付いたしました。選手のみなさんには、今大会でがんばっていただき、甲斐市の名を全国に高めていただきたいと思いますとお願いたしました。

5日の午前中、平成29年度甲斐市奨学生選考委員委嘱式及び奨学生選考委員会を行いました。委嘱は市内中学校の校長先生3名と教育委員会から1名の計4名で、委嘱後選考委員会が行われました。この奨学金制度は、今年度で40年を迎え、この間45名の奨学生を輩出しました。審査の結果については、今日の委員会のその他の項目で報告があります。

6日の午前中に第1回保健福祉推進協議会が開かれました。新しく委員になった方への委嘱と、福祉・健康・子育て・障がい福祉などについて担当課からの進捗状況や計画について説明や提案があり、話し合いが行われました。

7日夜7時から青少年育成甲斐市民会議の総会が北部公民館で行われました。市長が他の行事で都合がつかず、代わりにあいさつをしました。関係機関や団体の役員の方々が多く集まり、経過報告や事業計画、決算や予算について話し合いが行われました。

9日午後3時から、県教育委員会の教育監が、学校・地教委訪問で甲斐市を訪れました。午前中敷島小学校と午後敷島中学校を訪問した後の地教委訪問でした。子供の姿も教師の取り組みの姿勢も両学校とも頑張っている話を伺いました。課題として捉える点もそれぞれの学校に話し、

地教委とも教育力の向上についての話で、取り組みの方向性も深まりました。

10日午後2時から、敷島中学校吹奏楽部定期演奏会が双葉ふれあい館で行われました。1部、2部と別れ、どちらも素晴らしい演奏でした。演奏に出られない1年生の紹介とちょっとしたソロ演奏もあり好感が持てました。2部の聞きなれた曲の演奏とパフォーマンスには大いに盛り上がりました。日頃の練習の努力の様子が十分あらわれていました。

12日午後から、中北教育事務所で、中北教育委員会連合会教育長部会が行われました。内容は平成30年度県教育施設並びに予算に関する要望書の提出についての話し合いでした。各支部から出された要望を検討し、山梨県教育委員会連合会として、県に要望します。

13日10時から、中部公園セミナーハウス起工式が行われました。このセミナーハウスは元中部公民館の跡地で、防災施設を備え、公民館機能も併せ持つよう設計されています。完成は平成30年2月で、4月1日オープンとのことです。

14日午後4時から、市P連総会が双葉公民館で行われました。来賓の祝辞として、市長、議長、教育長、県P連の副会長があいさつを行いました。県P連の副会長の話の中で、市長、議長、教育長がこの会に参加してあいさつしたことにいたく感動しておりました。いろいろな市町の総会に参加してきたが、ほとんどの所で首長、議長の出席はなく、甲斐市のPTAへの関心の高さを語っていました。総会では、いつもの内容に加え、小学校の卒業式での服装(袴)についての議案も提出され、提案どおり決定されました。

15日からは市議会の6月定例会が開催され、報告案件4件、一般議案として条例の一部改正や補正予算、承認案件などが提案されました。一般質問や各常任委員会での審議を経て、9日間の日程を終えて23日最終日を迎えましたが、全て原案どおり承認されました。なお、教育委員会に関係する一般質問の質問事項及び答弁内容については、後ほど教育部長から説明させていただきます。

18日には、体育協会主催の市内支部対抗軟式野球大会が開催され、熱戦を繰り広げました。16チームの参加で2パートに分かれて、それぞれに優勝を目指しましたところ、Aパートは榎西区が、Bパートは双葉2区が優勝しました。

20 日午後から、平成 30 年度使用小学校教科用図書第 1 回中巨摩地区採択協議会が開催されました。甲斐市からは教育長と職務代理者が出席しました。

22 日午後から、中北教育事務所で第 1 回峡中・峡北地区地域教育推進連絡協議会が開かれました。今年度は峡中地区の会長は甲斐市ということであいさつを行い、また峡中地区の協議の議長を務めました。研修会では、山梨県立かえで支援学校の校長の元木哲哉先生と研究部主任の武井恒夫先生の「本県における特別支援教育の現状と課題」をテーマに講演頂きました。

昨日 29 日午後 1 時 30 分から、甲斐市交通対策推進協議会が本館の大会議室で行われました。この協議会は、甲斐市内における交通事故の状況を把握し、市民の総意を結集することにより、交通安全全般に関する効果的な対策を協議推進し、市民の福祉に寄与することを目的とする会です。市長を会長に、警察、交通指導員、自治会連合会、校長会、市 P T A 連合会、福祉協議会、安協等々の役員で構成され、事業報告や計画、収支決算の承認や、収支予算について話し合われました。

午後 3 時から、甲斐市要保護児童対策地域協議会代表者会議が行われました。要保護児童等の早期発見や適切な保護について、関係機関が情報や考え方を共有し適切な連携を図るための「子どもを守る地域支援ネットワーク」です。山梨県における虐待の現状や、甲斐市の虐待対応についてなどが議題でした。

本日 30 日は、第 3 回定例教育委員会が行われております。

以上、私からの 6 月の諸報告とさせていただきます。ありがとうございました。

教育長

議題第 1 号の審議に入ります前に、議題第 1 号「平成 29 年度要保護・準要保護、児童生徒の認定について」は、個人情報に関する事項が含まれます。したがって、甲斐市教育委員会会議規則第 15 条の規定により、議題第 1 号を非公開とすることについてお諮りします。

非公開とすることにご異議はございませんか。

一 同  
教育長

異議なし。

ご異議がありませんので議題第 1 号は非公開といたします。

○議 題

第1号 平成29年度要保護・準要保護、児童生徒の認定について

【非公開】

教育長 非公開とした議題第1号「平成29年度要保護・準要保護、児童生徒の認定について」の審議が終わりましたので、これより公開とします。

【ここから公開】

第2号 甲斐市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部改正（案）について

事務局 (資料説明)

事務局 この件につきましては、PTAからも毎年要望が出ていました。

甲斐市は70%ですが、是非100%にしてほしいということで、しきしま幼稚園が閉園したことによりその財源が充当できるため、4月から100%支給できることになりました。

委員 これは園に対しての補助金ということですよ。

事務局 園に対してということは、保護者の負担を減額できるということになります。

委員 公的な資金が園に入るので、公的な監査が園に入るということですよ。

事務局 監査は、県の方で行います。

教育長 他に、ご意見、ご質問はありますか。

無ければ原案のとおり承認してよろしいですか。

一同 異議なし。

第3号 平成29年度甲斐市学校給食運営委員（案）について

事務局 (資料説明)

教育長 ご意見、ご質問はありますか。

無ければ原案のとおり承認してよろしいですか。

一同 異議なし。

第4号 給食調理業務の民間委託について

事務局 (資料説明)

委員

双葉地区と敷島地区ではセンター方式で、竜王地区は自校方式ということで、それぞれメリットがあるということでやってきましたが、財政的負担からみると、センターの方が設備費は安いですね。竜王がこれから各校に整備となると格差が出てきますよね。コストの違いはどのようなのでしょうか。

事務局

合併前に敷島地区と双葉地区はセンター方式、竜王地区は自校方式だったということで、合併後、竜王地区の給食室が老朽化して建て直しが必要であるということから、今後、竜王地区の給食室の整備方針はどのようにするかということを検討しました。学校給食運営委員会などでも協議した結果、竜王地区についてはセンター方式にすると用地取得から始まって非常に経費がかかるということで、現状の自校方式の給食室を随時改修しながらやっていくということが平成17年度に出されました。それに基づいて竜王地区は随時改修計画をたててやってきました。25年は竜王中、27年は竜王北小が民間委託しました。民間委託するにあたっては、新しいドライ方式になった安心安全な施設でということを進めました。今のところの方針では自校方式でということですが、幹部会議でこの玉幡中のことを話した時、市長からも今後の竜王地区の児童生徒の推移をみるなかで、自校方式でいいのか、場所によっては3校、4校まとめて1箇所で作ったらどうかとか、2校分を1箇所で作ったらどうかとか、今後の検討課題ではないかと言われました。

今後の児童生徒数の推移をみながら検討していかなければならないということが出されました。

委員

子どもたちが給食を作っている様子を見るのは自校方式の方がメリットがあります。財政的メリットがあつて敷島、双葉地区はセンター方式にしたと思います。竜王は学校の数が多いですね。

事務局

今のところ1番古い玉幡中学校が29年度工事をして30年度に民間委託、同じように古いのが竜王西小学校、次に竜王南小学校、その次に竜王東小学校と、この先整備が必要となってきます。新たにセンターということになりますと、部長から話があったように土地の取得、また、既に整備が終わった学校もありますので竜王地区一括でというのは考えにくい、そうすると竜王地区の中でも、センター方式と自校方式の両方という可能性もあります。

センター方式にした場合、その学校は、給食を配る車がうまく動ける

ように学校も整備していかなければならないので、そういう費用も含めて考えなければなりません。今後検討していく必要があるということになります。

委員 子どもたちがレベルの高い食材の給食を食べられるということが第一だと思います。人件費の問題もあります。3校目の整備に入っていますが、今、部長が言ったように今のうちに考えておかないと子どもが減少したり、学校も縮小したりする可能性もあります。

委員 何をどこで検討するのかということが今の段階では何も決まっていないです。

委員 走り出してしまうと途中で戻れないですしね。

委員 給食センターも自校の給食室も子どもたちに給食を提供することを目的にしているわけですが、付随的にその施設を使って市民に提供できるものをどのようにしていくのか、どういう時にそれが出来るのか、公的にはできないのかということも検討項目の一つだと思います。

南アルプス市の給食センターは、災害時のための備蓄も考えたようです。そういう活用の検討も必要かと思います。

教育長 竜王地区が自校方式、敷島・双葉地区がセンター方式というのは固定した考え方ではないようです。諮問している状況もあるし、委員会だけに諮問すると食材とか施設だけになってしまうので、いろいろな人が入って方向性を決めていかないといけないですよ。それがいつなのか、どこなのかというのがこれからの課題になります。

委員 流れをみた時に合併前に敷島・双葉地区にセンターが出来たのに竜王で出来なかったのはなぜでしょう。

委員 自校方式の方がいいということで学校現場が反対しました。

委員 それを乗り越えてセンターにした行政があるわけです。

逆にセンターをやめて自校にしていくという流れは無いんですよ。

自校方式がいいということになれば、敷島・双葉も自校方式にシフトしていくという考え方は出てこない。

敷島・双葉にしてもセンター方式にするには、当時ものすごい議論があったと思います。

教育長 経過の中でどう変えていくかこれからの課題になっていくかだと思います。

その他に、ご意見、ご質問はありますか。



無ければ原案のとおり承認してよろしいですか。

一 同

異議なし

○その他

(1) 平成 30 年度県教育施策並びに予算に関する要望について

事務局

(資料説明)

教育長

毎年出ているものと、新規に出ているものがわかりますか。

事務局

2の文化財の保護については新規です。3の補助・助成のうち②の文化財関係補助金については新規となります。

事務局

1の初等・中等教育の充実、振興については、甲斐市としては⑩のスクールカウンセラー等の配置及び充実を新規であげました。

教育長

外国人が多いとか、スクールカウンセラーが減ってしまったとか地域の事情によって要望がそれぞれあるようです。

その他に、ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一 同

異議なし。

(2) 平成 29 年甲斐市議会 6 月定例会教育委員会関係一般質問について

事務局

(別冊資料説明)

委員

学校林に関連して、緑の少年隊というのがありますが、どういう活動をしているのでしょうか。

事務局

敷島北小学校と竜王北小学校と双葉中学校にあります。

昔は鳥の巣箱を作って設置したり、県の植樹祭に連れて行ったりしました。

事務局

現状での活動は、校内の環境整備が主です。

委員

活動によって県の補助金がありますよね。

事務局

はい、あります。

教育長

その他に、ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一 同

異議なし。

(3) 平成 29 年度甲斐市奨学生選考委員会結果報告

事務局

説明に入る前に、先ほどの(1)の県への要望についてですが、新規は⑨の適応指導教室の継続、再検討になります。

事務局

(資料説明)

教育長                   ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。  
一 同                   異議なし。

(4) 平成 28 年度学校給食費収納状況について

事務局                   (資料説明)  
委 員                   滞納があると、市で赤字補てんをしているのですか。  
事務局                   市で補てんをしています。  
                          材料の質を落とすということはしていません。  
委 員                   準要保護とかの部分ではある程度補てんが出来ている、そういう中で、  
                          制度を受けていない家庭が滞納するということですよ。児童手当で補  
                          てんということは、法的な縛りが無ければ、そういうもので支払って  
                          いただくということですね。

教育長                   まずは、1・2カ月の滞納から取り組んでいくということです。  
委 員                   早めの対応ですね。

委 員                   市になってからだいぶ改善されてきていますね。  
                          少なくなっている気がします。

事務局                   担当は、言われればいつでも集金に行っています。  
                          3カ月以上滞納があると、お弁当を持ってくるようにという市もある  
                          ようです。そうすると収納率は上がるようですが、なかなかできないで  
                          す。

教育長                   まだまだ、課題はありますね。  
                          他に、ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。  
一 同                   異議なし。

(5) 小学校卒業式の服装について

事務局                   (資料説明)  
教育長                   ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。  
一 同                   異議なし。

(6) 子どもの生活アンケートについて

事務局                   (別冊資料説明)  
委 員                   集計はどのようにしますか。  
事務局                   市では職員が集計します。

委員  
事務局  
教育長  
一同

これは文科省の指示ですか。  
山梨県独自のアンケートです。  
他に、ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。  
異議なし。

(7) 平成 29 年度山梨県学力把握調査の結果について

事務局  
委員

(資料説明)  
5年生の各クラスの児童の人数を入れてもらうと、数によって学力の定着が1年生からどのようになってきているのか、例えば30人未満の学級を作ると学力定着に効果があるという論理づけが出来ればと思います。

事務局

実はそのことも考えてしてみたのですが、あまり相関はありませんでした。

委員

細かなデータがあればと思いますが、また多忙化になってしまいますね。

事務局  
委員

集団であれば、地域の特性というのはかなりあります。  
県のアベレージに近づき、またそれを超えてくる数が年々変化してきている、学力の定着につながってきていることは、これをみると非常によくわかります。

経年の蓄積をしていくことの大事さ、何にどのように取り組んで行くかということなど、続けていくことが成果を上げていくのに有効であり、子どもたちも伸びていくと思います。

教育長

これは、中間資料ということで、もっと詳しい資料はこれから出てきますね。

事務局  
教育長  
一同

これは速報値となります。  
他に、ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。  
異議なし。

(8) チャレンジデー2017の結果について

事務局  
教育長  
一同

(資料説明)  
ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。  
異議なし。

(9) 7月の行事予定について

事務局

(資料説明)

教育長

ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一 同

異議なし。

○閉 会

事務局

本日、本定例会に付議された議案の審議を全て終了したので本定例会の閉会を宣する。

閉会時間 午後4時15分